



# あじけん通信 vol.11



2008年12月発行  
発行所：TBC国際外語学院  
企画・編集：水沼 正芳

師走を迎え、街中が非常に慌しくなって参りました。気温もぐっと下がり、本格的な冬の訪れを否応無しに感じさせられます。体調管理には一層注意したい時期でもありますね。

様々な国からやって来た現在入寮中の研修生の皆さんは、ここアジア研修センターで初めての日本の冬を体験することになります。そんな皆さんの為に、各部屋の毛布の枚数を入寮時にきちんと管理したり、新たな暖房設備を検討したりと、様々な対策を講じているところです。

個人的に冬はあまり好きな季節ではありませんが、朝方の張り詰めた感じの空気や、澄み渡った空に光る星空など、冬ならではの良さを研修生の皆さんにも感じてもらえたらいいなと思っています。ここ最近では、まだ見た事の無い雪を楽しみにしているインドネシアやフィリピン人研修生がとても印象深いです。今年も残りあと僅か、元気に1年を締め括りたいものですね！

## ～ 地域交流トピックス vol. ～ アジア研修センター 見学会レポート！

先月の中旬、栃木県から運営委託を受け若年者向けの就職支援講座（ジョブカフェ）を開講している機関の方から、体験学習の一環として当学院の見学をさせて欲しいという依頼を受け、参加者の方を対象とした見学会を実施致しました。

まずは管理人の塩浜さんから参加者の方々に寮の管理についての説明があり、実際に研修生の皆さんが暮らしている部屋の様子や施設内の見学をして頂きました。その後、実際に行われている授業の様子を見て頂いた後に、当学院の講師を交えた食事会が行われました。参加者の方から多くの質問を受けたり、授業内容について話をさせて頂いたりしている内に、あっという間に午後の授業開始時間となりました。再び授業を見学して頂いた後、団体様主催の講義の中での1時間を頂いて企画した当日のメインイベント【研修生との座談会】へと移行しました。

先ずはその場に集まったメンバーそれぞれが自己紹介を行いました。参加者の方々は、事前に中国語での自己紹介を練習していたようで、それを聞いた中国人研修生から歓声があがりました。言葉が通じないと、上手くコミュニケーションが成立しないと思っていた方が多かったようですが、実際にやりとりを交わす内に、「実はそんなに難しい事ではないんだ。」といった印象を持ってもらえたようです。

参加者の方々には、真剣な表情で日本語を学習する研修生の姿や、およそ1ヶ月という短い期間の中でゴミの分別や外国人の方にとってみれば馴染みの無い日本の習慣を身に付けてもらおうという私達の取り組みに対して、非常に関心を持って頂く事ができたようです。また、研修生の皆さんにとっても、当学院の職員以外の日本人と直に接することで、日頃の学習成果を試す良い機会になったのではないのでしょうか。この会に参加した全ての人にとって、きっと何か得る物があったのではないかと...。そんな風に思える有意義な会合になったようです。今後も、機会があればどんどん交流できる機会を増やし、地域にもきちんと理解して頂ける施設を目指して、工夫や努力を続けていきたいと考えているのです。



(中国人研修生)



(参加者の方)

それぞれ自己紹介を行いました。



〈 座談会の様子 〉

様々な質問が飛び交い、盛り上がりました。